

○ 夏季の天気（3ヶ月予報） 平成29年5月31日現在

この春は、3月が平年より -1.3°C 、4月が $+1.2^{\circ}\text{C}$ 、5月（30日現在）が $+0.6^{\circ}\text{C}$ と寒暖の差が大きくなっています。

ただ、1月からの平均気温は、ほぼ平年並みに推移していますが、今後の気温変化、降水量がどう変化するか注目されます。

5月25日、気象庁から3ヶ月の長期予報が発表されました。気象庁の定義では、6月から8月は夏の季節になります。この長期予報に基づき、この夏の傾向について解説します。

1 3ヶ月予報（九州南部地方）

(1) 気温

3ヶ月平均	20	30	50
6月	20	40	40
7月	30	30	40
8月	20	30	50

(2) 降水量

3ヶ月平均	20	40	40
6月	20	40	40
7月	20	40	40
8月	40	30	30

*表の見方は、農業試験場のHP「農業気象情報⑩」を参照してください。

2 3ヶ月予報の解説

(1) 気温は3ヶ月平均で平年より高い予想です。月ごとには6月はやや高い傾向、7月は平年並みかやや高い傾向、8月は高い傾向になります。

そのため、3ヶ月間を通じて、平年より高いという表現になりますが、月ごとには少しの違いが見られます。特に、6、7月は早期水稻の出穂期から登熟期に当たり、8月は、普通水稻の出穂期から登熟初期に当たりますので、温度変化には注意してください。そのほかの農作物は、8月に高温と少雨傾向が見られますので、週単位で温度変化、降水、異常気象に注意し、状況に応じて必要な対策ができるようにしてください。

(2) 降水量は3ヶ月平均で平年並みかやや多い予想です。月ごとには6月、7月とも平年並みかやや多い傾向、8月はやや少ない傾向になっています。

3ヶ月予報では、6月に梅雨入りがあり、梅雨の時期に雨量が多い予

想になっています。しかし、8月は太平洋高気圧に覆われ、暑さが続くとともに、晴れの日が多く、雨量が少なくなる予想です。

特に沖縄地方では、入梅後まとまった雨が降ったものの、今週初めまで空梅雨傾向が見られていました。ようやく梅雨らしい天気変わってきています。九州南部でも同じ傾向が出る恐れがありますので、週単位での天気、雨量の動向に十分注意してください。

3 今後の見通し

2月25日に出された3ヶ月予報（今年の春傾向）の結果では、「3月の低温」、「4月の雨量が多い」の項目が外れていたように、予報精度はやや低くなるため、注意が必要です。

去年は、2月から平均気温が平年よりも高く、とくに最低気温（夜温）が高い傾向が見られ、その傾向は12月まで続き、大きな影響がありました。今年は、平年並みに近い傾向が続いていますので、少なくとも6月は同じ傾向になるのではないかと予想します。

特に、今年は北からの寒気（寒冷渦の影響）の勢力が強いため、6月の前半は、平年よりも気温が低い傾向で梅雨寒も予想されます。そのため、週間天気予報をこまめに確認してください。

総合農業試験場企画情報室 村岡精二（気象予報士）